

Subject: RE: お礼

From: <kobe-yasumae@ozzio.jp>

Date: 2021/08/22 22:07

To: '堂馬英二' <ejjidoma@gmail.com>, '平岡 早織' <cha-kuncha-kun@ck2.so-net.ne.jp>

堂馬様、平岡様

昨日のメールで、六甲山宗教史に詳しい「君からの連絡で
「【兵庫史談】に1～9の石仏（9体仏）の元の位置が載っていたのでは？」
と書きましたが、「君より、「記憶間違いで【歴史と神戸】だった」と
今日連絡あり。しかも既に平岡さんもコピーを持っておられた
「歴史と神戸」91号（昭和53年）の山下論文でした。
すぐに、「歴史と神戸」91号を書棚から引っ張り出し、よく読んだら
P30～32に掛けて、石仏の場所の地図と説明が記載されていました。
私もどこかで読んだ記憶があると言いましたが、「歴史と神戸」91号でした。
この本以外に、9体仏の元の位置を記載した資料は見ることがないので、
小さくて分かりづらいですが、この地図と説明文をよく見て、
大体の場所を確認下さい。
説明文によると、1～3は、四鬼家の南から二の橋までの間、
4～8は、二の橋からドライブウェイまでの間、にありました。
この8体と番外1体が、まとめて9体仏になりました。
念のため、該当地図と説明文添付します。
（平岡さんお持ちのコピーの方が見やすいかも？）
シュラインロードの入り口も、今の場所よりずっと北東部でしたね。
（上唐櫃の四鬼家のすぐ南ですね・地図参照）
堂馬さんは、多分地図と文字が小さすぎて見づらいと思いますので
平岡さんの、良い目で見てあげて下さい。（笑）

前田

From: 堂馬英二 <ejjidoma@gmail.com>
Sent: Saturday, August 21, 2021 10:19 PM
To: kobe-yasumae@ozzio.jp
Cc: 平岡 早織 <cha-kuncha-kun@ck2.so-net.ne.jp>
Subject: Re: お礼

前田康男さま

早速、お調べいただき、ありがとうございます。さすがの研究集団だと敬服します。シュラインロード石仏の移転の状況をイメージすることができました。

私たちは、雨の中、花山付近で藪漕ぎを味わってきました。古寺山くらは趣味の同好会で期待外れでした。作戦の見直しを検討しました。

今後もよろしくお願いします。

8月21日

堂馬英二

2021年8月21日(土) 10:07 <kobe-yasumae@ozzio.jp>:

堂馬様

昨日はお疲れ様でした。

「唐櫃拾遺」「有野町史」「歴史と神戸・山下論文」

のコピーを持っておられたのには驚きました。

シュラインロードの石仏に関する、手ごろな資料は

これくらいかと思っていましたが、それを揃えて

おられましたね。さすがです。

昨日、問い合わせのあった件、

六甲山歴史オタク仲間で、六甲山宗教史に

詳しい奴（I君）がいるので、（六甲山歴史百科事典制作仲間の一人）

確認したところ

1, シュラインロード入り口の鳥居について

もともと、この場所にあったのではなく、

明治末～昭和初期に裏六甲がどんどん開発され

道路などができていく過程で、移設されてきたもの

と、判断しているとのこと。（I君の推察）

9体仏が、裏六甲ドライブウェイ建設に伴い

立ち退きを強いられ今の場所に移設されたのと

同じ理由。今は、この鳥居の場所がシュラインロードの

入口かのように思われているが、ドライブウェイ等が

できるまでは、シュラインロード（唐櫃道）の入口は

もっと唐櫃の村に近い場所、恐らく四鬼家付近であったと思われる。

それなら、この鳥居が元あったのは、どの神社かと

なると、資料がなく正確にはわからない。

*（今も、唐櫃の村にはいくつかの神社があるが、

廃社になったものもあり、そうした神社のものかも知れない。

一軒茶屋から、魚屋道を有馬側に下ってすぐの所に

10年くらい前まで、「吉高神社」があったが、今は廃社となり

解体されたが、六甲山系には、廃社、廃寺のなっているものも

多い。）

道路網ができ始めシュラインロードの入り口が今の場所になった時

神社への入り口ではないが、33体仏や行者堂へのお参りに行く入口として、

この場所に移設したのかもしれない。（これは前田の推察）

そう思うと、この鳥居は、柱が地中にかなり深く埋もれており

穴を深く掘って、移設した感じでは？(笑)

ということで、確たる証拠となる文献がなく推察の域ですみません。

2, 9体仏の元の場所について

どこかに、書いてあったようなおぼろげな記憶があったが、

I君に確認したところ、昭和40年代の「兵庫史談」に

それに関するレポートがあったとの事。

* 「兵庫史談」は「神戸史談会」の会報で

私の所属する「神戸史学会」とは、別の

郷土史研究団体です。神戸史学会は2か月ごとに

「歴史と神戸」という会報を発行、会員の研究論文を

発表しています。

(昨年8月号に、前田も「六甲山郵便局の100年」と題する

六甲山郵便局の100年史を発表させて頂きました)

「兵庫史談」は、私も保有していませんので、
今しばらくお待ちください。

取り急ぎ、途中経過ご報告まで。 前田

From: 堂馬英二 <eijidoma@gmail.com>

Sent: Friday, August 20, 2021 7:58 PM

To: kobe-yasumae@ozzio.jp

Subject: お礼

前田康男さま

本日は久しぶりにお話しができ、楽しかったです。ありがとうございました。

明日は、企画が進展するのを期待しつつ、雨中？の会合に出かけます。結果はまたご報告します。

堂馬

添付ファイル:

唐櫃道山下論文地図.jpg	1.0 MB
---------------	--------

唐櫃道山下論文石仏場所説明①①.jpg	132 KB
---------------------	--------

唐櫃道山下論文石仏場所説明②.jpg	611 KB
--------------------	--------